Japan Triathlon Union

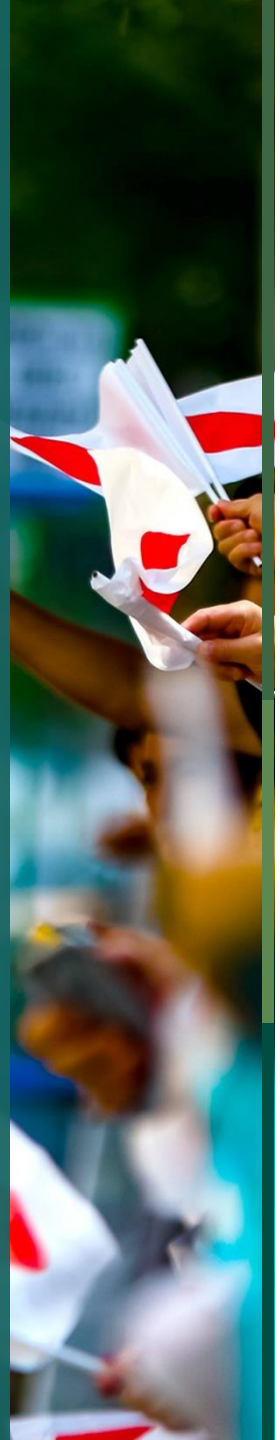
東京2020パラリンピック競技大会

トライアスロン競技日本代表候補選手発表
メディア・ブリーフィング

2021年7月8日

公益社団法人日本トライアスロン連合（JTU）

東京2020パラリンピック競技大会
日本代表選考基準



東京2020パラリンピック競技大会 トライアスロン競技日本代表選手選考基準（2021年7月8日再更新）

トライアスロン競技日本代表選手・選考基準

公益社団人日本トライアスロン連合（以下、「JTU」）は、JTU定款第4条（事業）第1項3号により、東京2020パラリンピック競技大会（以下、「本大会」）トライアスロン競技の日本代表選手・選考基準（以下「本基準」）を策定する。本大会は、東京都港区お台場海浜公園において、次のように開催が予定されている。

2021年8月28日（土）： 男子PTS4、女子PTS2、男女PTVI
2021年8月29日（日）： 男女PTS5、男女PTWC
2021年8月30日（月）： 予備日

出場枠	1）国別出場枠：各クラス男子2名、女子2名（全4クラス男女合計16名迄） 2）バイパルタイト招待枠
選考の基本方針	パラリンピック実施クラス（混合されたクラス含む）の選手かつ国別出場枠を獲得した選手を優先的に選考する
第一次選考基準	国別出場枠を獲得した選手に対し、次を適応する。 1）ITUパラリンピック出場資格ランキングリスト（以下、東京PQR）9位までの選手 （対象期間：2019年6月28日（金）～2021年6月28日まで） 2）前述1）に該当する選手が不測の事態、病気、怪我などで選考辞退・取消しとなった場合は、第二次選考基準の上位選手より充当する。
第二次選考基準	国別出場枠を獲得していない選手に適応され、以下の優先順位とする。 1）2019ITU世界パラトライアスロン選手権において、強化SおよびA1指定に相当する選手 2）東京2020パラリンピック出場資格対象期間中の対象レースにおいて、強化SおよびA1指定に相当する選手 3）2019ITU世界パラトライアスロン選手権において、強化A2およびB1指定に相当する選手 4）東京2020パラリンピック出場資格対象期間中の対象レースにおいて、強化A2およびB1指定に相当する選手 5）2021 アジアパラトライアスロン選手権において、優勝に相当する選手 6）東京PQRの上位選手 ＊女子PTS3・PTS4・PTS5クラスの選手は、混合された女子PTS5クラスの結果として、男子PTS2・PTS3・PTS4クラスの選手は、混合された男子PTS4クラスの結果として判断される。
選考手順	1）2020東京パラリンピック日本代表選手選考委員会（代表選手の選考）を2021年6月（予定）に開催し、選手選考の審議を行う。その後、JTU理事会の承認を得てJPCへ提出する。 2）最終の参加承認はJPC基準による 3）当基準は、関連基準の変更・関係各団体との調整により変更されることがある。その場合は随時、公表するものとする。

＊公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会 東京2020パラリンピック競技大会日本代表選手団編成方針及び選手選考基準（2019年6月6日）
http://www.jsad.or.jp/paralympic/news/detail/20190606_001910.html

＊東京2020パラリンピック競技大会パラトライアスロン競技 出場資格
https://www.jtu.or.jp/news/2018/12/04/13670/

＊東京2020パラリンピック大会出場資格ランキング
https://www.triathlon.org/uploads/docs/itusport-paralympic-qualification-ranking_20181125.pdf

東京2020パラリンピック競技大会
トライアスロン日本代表候補選手

東京2020パラリンピック競技大会

トライアスロン日本代表

トライアスロン 女子日本代表

土田 和歌子
WAKAKO TSUCHIDA

秦 由加子
YUKAKO HATA

谷 真海
MAMI TANI

トライアスロン 男子日本代表

木村 潤平
JUMPEI KIMURA

宇田 秀生
HIDEKI UDA

米岡 聡
SATORU YONEOKA

東京2020パラリンピック競技大会

トライアスロン女子日本代表

土田 和歌子（つちだ わかこ） WAKAKO TSUCHIDA

出場クラス	：PTWC女子 H2
所属	：八千代工業
登録地	：東京都
生年月日	：1974年10月15日
出身地	：東京都清瀬市
出身学校	：東京都立清瀬東高等学校
パラリンピック代表歴	：トライアスロン競技初出場

トライアスロン競技において初参加となります。
昨今、未だ新型コロナウィルスの影響で大変な状況下でありますが、今の私にできることにフォーカスし多くの方々の想いを胸に、夢の舞台に向けて準備を進めていきたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。

Biography

高校2年のとき、交通事故で車いす生活になる。1993年アイススレッジの講習会に参加したことがきっかけで、日本で最初にアイススレッジスピードレースを始める。
1994年リレハンメル冬季大会出場、1998年長野冬季大会では4つのメダル獲得。1999年からは陸上競技に転向。2000年シドニーから夏季4大会に連続出場、金を含む3つのメダル獲得し、日本人史上初の夏・冬パラリンピック金メダリストになった。2017年からパラトライアスロンに挑戦、2018年正式に競技転向し、世界パラトライアスロンシリーズ横浜大会を2連覇、世界選手権2位と頭角を現す。

主な成績

2019	ITUパラトライアスロンワールドカップ（2019/東京）	1位
	ASTCアジアパラトライアスロン選手権（2019/キョンジュ）	1位（3連覇）
2018	ITU世界パラトライアスロン選手権（2018/ゴールドコースト）	2位
	ITUワールドパラトライアスロンシリーズ（2018/エドモントン）	1位
	ITUワールドパラトライアスロンシリーズ（2018/横浜）	1位
2017	ITUワールドパラトライアスロンシリーズ（2017/横浜）	1位

東京2020パラリンピック競技大会

トライアスロン女子日本代表

秦　由加子（はた　ゆかこ）YUKAKO HATA

出場クラス	：PTS2女子
所属	：キヤノンマーケティングジャパン・マーズフラッグ・ブリヂストン
登録地	：千葉県
生年月日	：1981年4月10日（40歳）
出身地	：千葉県千葉市
出身学校	：和洋国府台女子高等学校→亜細亜大学
パラリンピック代表歴	：2度目

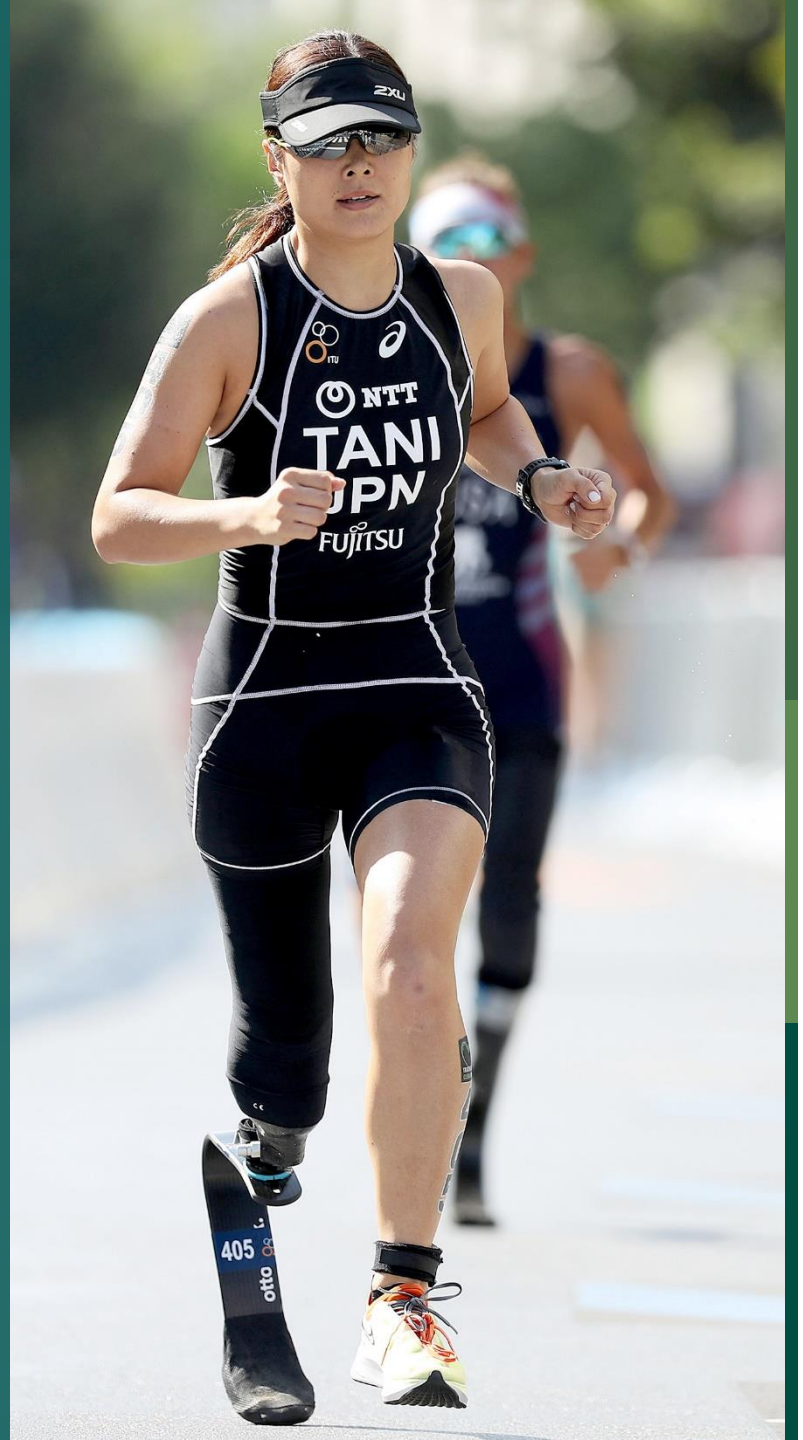
自国開催である東京パラリンピックに、出場できる喜びと、責任を感じております。コロナ禍で、多くの方が苦しみ、辛い思いをしている今の世の中が、少しでも改善することを願い、用意して頂いた舞台に、私なりに心を込めてしっかりと準備し臨みたいと思います。
応援を、宜しくお願いします。

Biography

3歳で水泳を始め、10歳までスイミングクラブに通う。13歳のとき、骨肉腫を発症し、右脚を大腿部より切断。
キヤノンマーケティングジャパン入社後の26歳でパラ水泳のクラブチームに所属し水泳を再開。2013年からトライアスロンに転向。その後、2014年にJTUパラトライアスロン強化指定選手となり、2016年のリオパラリンピックに初出場、日本選手最高の6位の成績を残す。
キヤノンマーケティングジャパン・マーズフラッグ・ブリヂストンに所属し、現在は沖縄県を拠点にトレーニングを行う。

主な成績

2021	ワールドトライアスロンパラシリーズ（2021/横浜）	2位
	アジアトライアスロンパラ選手権（2021/廿日市）	1位
2020	ITUワールドパラトライアスロンシリーズ（2020/デボンポート）	1位
2019	ITUパラトライアスロンワールドカップ（2019/アランヤ）	1位
	ITUパラトライアスロンワールドカップ（2019/バニョラス）	2位
2016	リオ2016パラリンピック競技大会　トライアスロンPT2女子	6位



東京2020パラリンピック競技大会

トライアスロン女子日本代表

谷　真海（たに まみ）MAMI TANI

出場クラス	：PTS5女子
所属	：サントリー
登録地	：東京都
生年月日	：1982年3月12日（39歳）
出身地	：宮城県気仙沼市
出身学校	：仙台育英学園高校→早稲田大学
パラリンピック代表歴	：トライアスロン競技初出場

2018年に自分の障害クラス（PTS4）が開催されないことが決まり、より障害の軽いクラス（PTS5）への挑戦となり、選考レースは非常に厳しいものでしたが、なんとか出場を決めることができ、とても嬉しく思っています。4大会目のパラリンピック出場、そしてトライアスロンでは初出場となります。開催国の選手として出場できることを誇りに思います。
難しい状況下での東京2020大会となりますが、与えられた環境に感謝しながら、精一杯頑張りたいと思います！

Biography

中学校で陸上競技を始める。
早稲田大学在学中の2001年の冬、骨肉腫を発症し2002年4月に右足膝下を切断。
2003年1月から義足で走り幅跳びに挑戦、2004年のアテネパラリンピックから3大会連続で出場。2013年3月東京2020大会招致委員会プレゼンターとしてIOC総会でスピーチを務めた。2016年、練習の一環で続けていたトライアスロンに転向し、2017年の世界選手権で初出場・初優勝を飾った。
現在は、サントリーに所属し東京都でトレーニングを行う。

主な成績

2021	ワールドトライアスロンパラシリーズ（2021/横浜）	2位
	アジアトライアスロンパラ選手権（2021/廿日市）	1位
2020	ITUワールドパラトライアスロンシリーズ（2020/デボンポート）	2位
2019	ITUパラトライアスロンワールドカップ（2019/東京）	2位
2018	ITUワールドパラトライアスロンシリーズ（2018/横浜）	1位

東京2020パラリンピック競技大会

トライアスロン男子日本代表

木村　潤平（きむら じゅんぺい）　JUMPEI KIMURA

出場クラス	：PTWC男子 H1
所属	：社会福祉法人ひまわり福祉会
登録地	：東京都
生年月日	：1985.2.14
出身地	：兵庫県西宮市
出身学校	：東京都私立佼成学園高校→早稲田大学→早稲田大学大学院
パラリンピック代表歴	：2度目

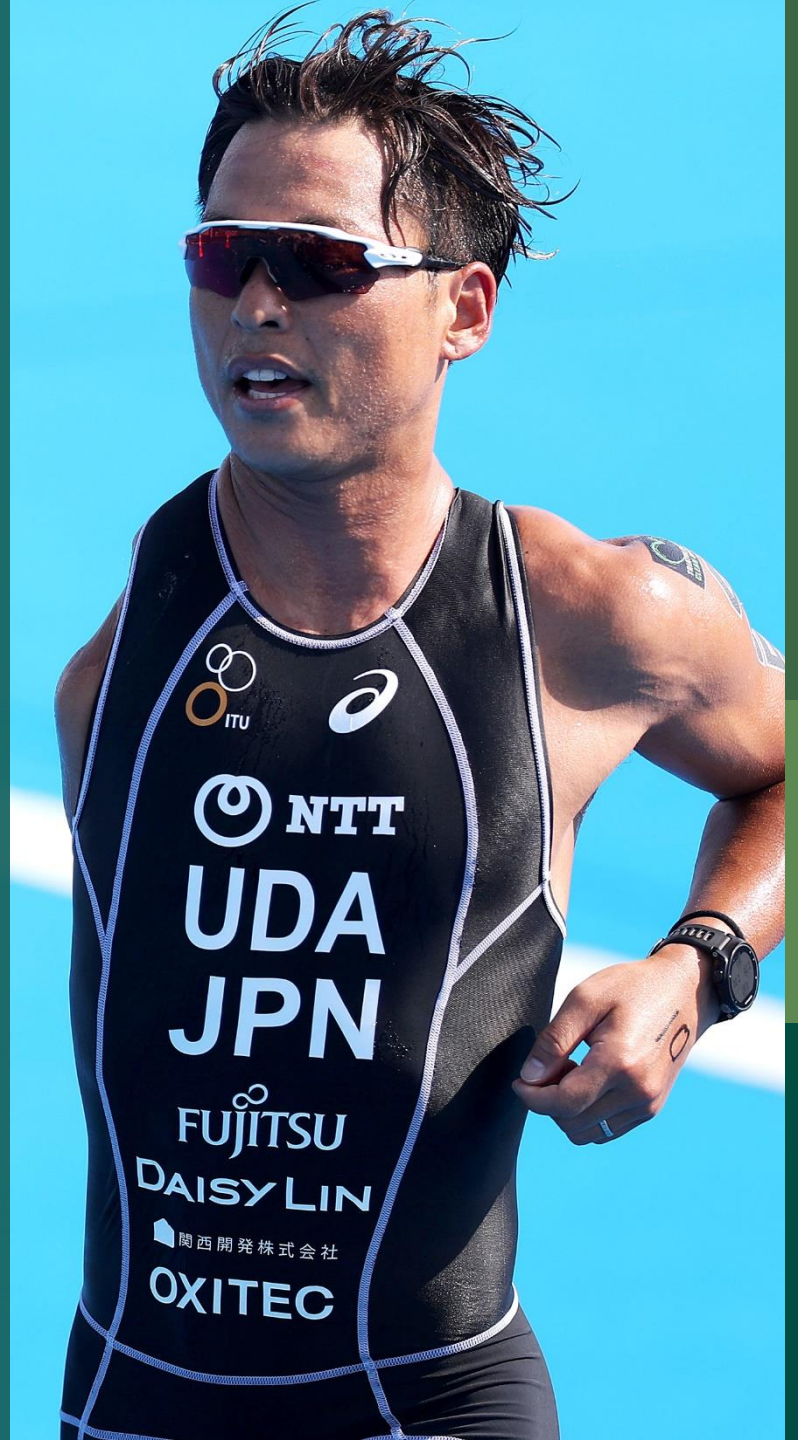
今回の発表を受け、まず初めにこれまでに本当に多くのサポートをしていただいた皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。最下位で終わった2016リオパラリンピック以降、2020東京パラリンピックでのメダル獲得だけを目指してきました。大変光栄であり嬉しい気持ちでいっぱいですが、パラリンピックで最高のパフォーマンスを出せるように、レース本番に向けて、最後まで集中して準備万全で試合に臨みたいと思っています。
応援よろしくお願い致します。

Biography

先天性の下肢不全により、5歳の頃から松葉杖を使用。
小学1年から競泳を始め、アテネ2004大会から3大会連続でパラリンピックに出場。2013年からパラトライアスロンにチャレンジし、競泳で培った技術や知識を武器に2016年のリオパラリンピックに初出場10位。2017年には早稲田大学大学院スポーツ科学研究科に入学し競技活動と両立。
現在は社会福祉法人ひまわり福祉会に所属し、世界ランキング上位選手として、海外レースを転戦。東京都板橋区を拠点にトレーニングを行う。

主な成績

2021	アジアトライアスロンパラ選手権（2021/廿日市）	1位（6連覇）
2020	ITUワールドパラトライアスロンシリーズ（2020/デボンポート）	2位
2019	ITUパラトライアスロンワールドカップ（2019/バニョラス）	2位
	ITUパラトライアスロンワールドカップ（2019/東京）	4位
2018	ITUパラトライアスロンワールドカップ（2018/ローザンヌ）	3位
2016	リオ2016パラリンピック競技大会　トライアスロンPT1男子	10位



東京2020パラリンピック競技大会

トライアスロン男子日本代表

宇田　秀生（うだ ひでき）　HIDEKI UDA

出場クラス	：PTS4男子
所属	：NTT東日本・NTT西日本
登録地	：滋賀県
生年月日	：1987年4月6日（34歳）
出身地	：滋賀県甲賀市
出身学校	：滋賀県立水口高等学校→関西外国語大学
パラリンピック代表歴	：初出場

初めてのパラリンピックなので、選手として参加できる事を素直に嬉しく思います。
競技を始めてからたくさんの素敵な出会いに恵まれ、ここまで来れました。そんな出会いや今ある環境に感謝して、自分なりの精一杯のレースをしたいです。
少しでも結果で恩返し出来るよう頑張ります！

Biography

小学校からサッカーを始め、高校卒業まで県代表として活躍する。
2013年、仕事中の事故により利き腕である右腕を切断。半年後、リハビリの延長でトライアスロンを始める。
2015年の第1回びわ湖トライアスロン in 近江八幡大会でレースデビュー。その2ヶ月後に出場したアジア選手権では、初出場・初優勝を飾る。
2015年12月からJTUパラトライアスロン強化指定選手に認定され、2017年7月には世界ランキング1位にまで登りつめる。
積極的に国際大会に出場し、数多くの大会で表彰台に登る。

主な成績

2021	ワールドトライアスロンパラシリーズ（2021/横浜）	3位
	アジアトライアスロンパラ選手権（2021/廿日市）	1位
2020	ITUパラトライアスロンワールドカップ（2020/アリャンドラ）	2位
	ITUワールドパラトライアスロンシリーズ（2020/デボンポート）	3位
2019	ITUパラトライアスロンワールドカップ（2019/バニョラス）	3位
2015	ASTCアジアパラトライアスロン選手権（2015/スービックベイ）	1位

東京2020パラリンピック競技大会

トライアスロン男子日本代表

米岡　聡（よねお かさとる）　SATORU YONEOKA

出場クラス	：PTVI男子 B1
所属	：三井住友海上火災保険
登録地	：東京都
生年月日	：1985年9月6日（35歳）
出身地	：神奈川県愛甲郡
出身学校	：筑波大学附属視覚特別支援学校→日本大学
パラリンピック代表歴	：初

いつもご支援ご声援ありがとうございます。選出していただけたこと、大変光栄に思っております。
このような厳しい情勢の中、競技を継続させていただいてきたこと、多くの方々に支えてきていただいたこと、本当に感謝しております。一人では絶対にたどり着けなかった場所だと思っています。
パラリンピックではメダル獲得を目指して戦います。ここから、本番に向けてしっかりと準備をしていきます。引き続きのご支援ご声援、何卒よろしくお願いいたします。

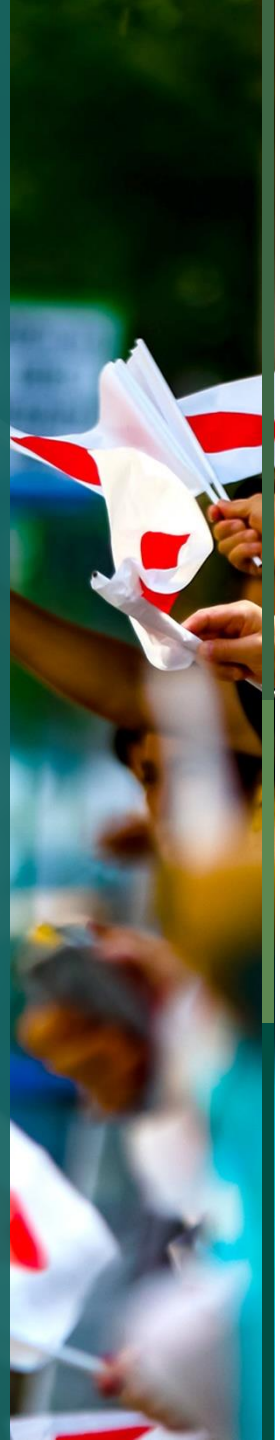
Biography

10歳の時に網膜はく離を発症、以来悪化しないよう激しい運動を避けて生活するが、20歳頃電車で出会った方に紹介されてランニングを開始。走り始めて5年後の25歳でほぼ完全に視力を失い、ブラインドマラソン競技に本格的に挑戦。
その後2013年にクロストレーニングとして取り組んでいたトライアスロンに挑戦し、5月世界トライアスロンシリーズ横浜大会でレースデビュー。
2015年4月に三井住友海上へ入社。現在は東京都東村山市を拠点に、得意のランニングを武器に世界と戦う。

主な成績

2021	ワールドトライアスロンパラシリーズ（2021/横浜）	4位
	アジアトライアスロンパラ選手権（2021/廿日市）	1位
2019	ITUパラトライアスロンワールドカップ（2019/フンシャル）	4位
	ASTCアジアパラトライアスロン選手権（2019/キョンジュ）	1位
2018	ITUパラトライアスロンワールドカップ（2018/サラソタ）	3位
	ASTCアジアパラトライアスロン選手権（2018/マウントマヨン）	2位

東京2020パラリンピック競技大会
トライアスロン競技概要



東京2020パラリンピック競技大会

トライアスロン競技概要

1. 実施競技種目と日程

男子 PTS4 女子 PTS2 男子 PTVI 女子 PTVI	2021年8月28日(土) 6:30-11:00
男子 PTWC 女子 PTWC 男子 PTS5 女子 PTS5	2021年8月29日(日) 6:30-11:10

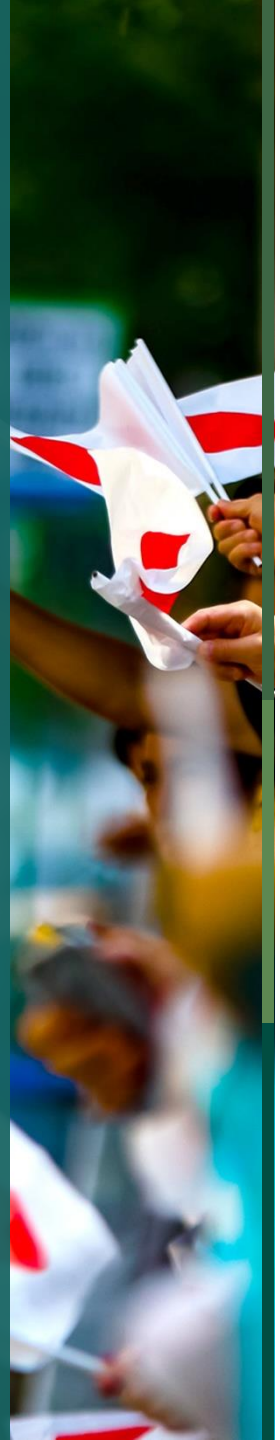
2. 会場

スタート・フィニッシュ：お台場海浜公園

3. 距離

個人(女子/男子)	水泳(スイム)750m
	自転車(バイク)20km(5km×4周回)
	ランニング(ラン)5km(1.25km×4周回)

トライアスロン会場イメージ(TOKYO2020公式サイトより)
https://olympics.com/tokyo-2020/ja/venues/odaiba-marine-park

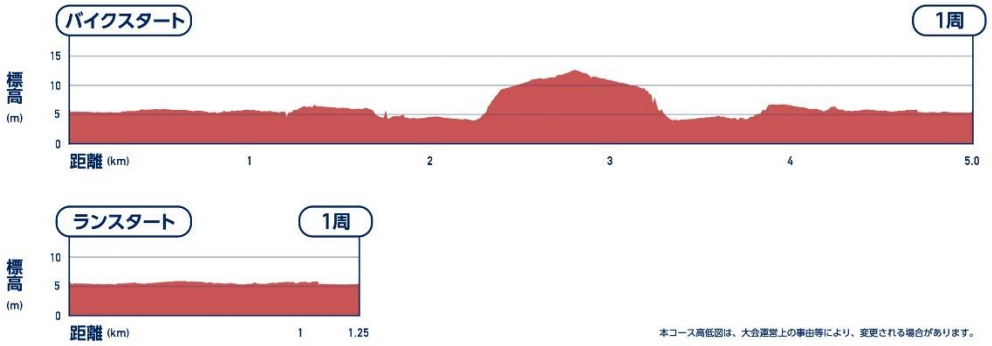


東京2020パラリンピック競技大会

トライアスロン競技概要

コースマップ（個人）

パラリンピック トライアスロン 個人（男子/女子）



トライアスロン競技イメージ
2019 Tokyo ITU Paratriathlon World Cup ／©Shugo TAKEMI